

リトルシニア投球数制限に関するFAQ

日本リトルシニア中学硬式野球協会 関東連盟 南関東支部

投球数制限について、問合せ等で不明点を記載しています。なお、ご不明な場合は南関東支部審判部へお問合せ下さい。

Q1: 1日最大90球以内、連続する2日間で130球以内とあるが、ダブルヘッダーの場合はどうなるのか。

A: ダブルヘッダーであっても、あくまで1日最大90球以内、連続する2日間で130球以内となります。

ただし、1日目、連続する2日目において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。

Q2: 連続する3日目の試合において、第1打者が打撃完了する前に、3日間累計で130球に到達した場合はどうなるのか。

(例. 1日目45球、2日目45球、3日目に残り40球の状態で登板)

A: 3日目において3日間累計で130球に到達した場合も、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。**ただし、1日目および2日目において、当該打者の打席途中においても、投球数が45球になった時点で投球を打ち切らなければ3連投することはできない。**

Q3: 連続する3日目または4日目で投手として登板できない試合において、捕手等他のポジションでの出場制限はあるのか。

A: 投手以外であれば捕手を含め出場制限はありません。

Q4: 交代した投手が他のポジションについていた後に、更に他のポジションにつくことはできるのか。

A: 可能です。公認野球規則5.10(d)【原注】の前段*は適用しない(リトルシニア関東連盟大会規則【野球特別規則】P29記載有)

* 公認野球規則5.10(d)【原注】の前段:同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできなく、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない。

Q5: 特別継続試合となり2日連続で投球する場合はどうなるのか。

A: 特別継続試合であっても、連続する2日間130球以内での投球が可能です。試合単位ではなく、日数単位での制限となります。

Q6: 異なる大会の運用は具体的にはどういうことか。

A: 異なる大会においても連日投球する投手は、ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

Q7: 投球数確認シート<様式A>には、大会名欄があるが、上記Q6との整合はどうのようにするのか。

A: 各大会毎(支部大会、関東大会、全国大会を問わず)投球数確認シート<様式A>に大会名を記載し使用して下さい。

* 南関東支部大会においては2024年度までは、投球数確認シート<様式A>を全ての支部大会共通で使用していましたが、2025年度より上記のとおり大会毎に作成、使用して下さい。

Q8: ダブルヘッダー、特別継続試合の際の投球数確認シート<様式A>への記載はどのようになるのか。

A: ダブルヘッダー、特別継続試合とも2列に分けて、余白にダブルヘッダー、特別継続試合と記載して下さい。

Q9: 投球数確認シート<様式A・B>の背番号に変更が生じた場合はどのようにするのか。

A: 背番号変更の都度、二線抹消し、新しい背番号を記載して下さい。

以上